

# 商船三井 at a Glance

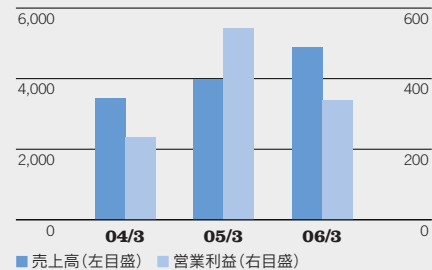
2005年3月期より新たに採用したセグメントに基づき、事業の概要をご説明します。

## コンテナ船事業

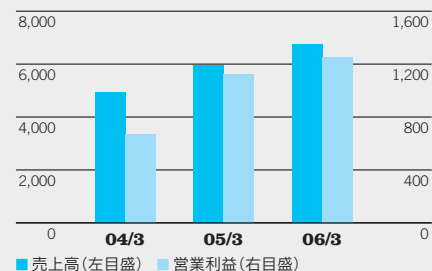


### 業績

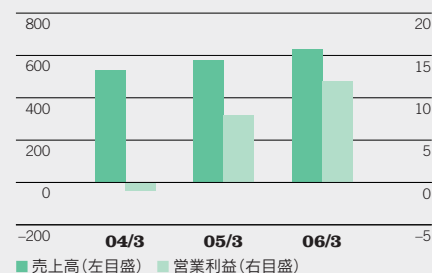
(億円)



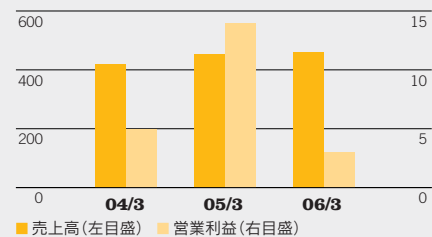
## 不定期専用船事業



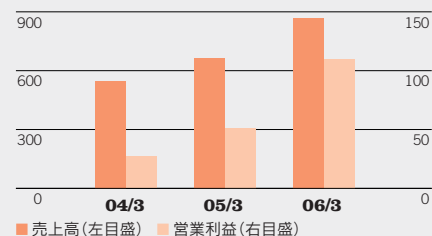
## ロジスティクス事業



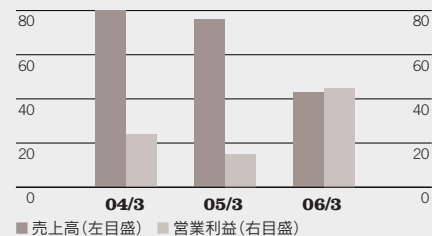
## フェリー・内航事業



## 関連事業



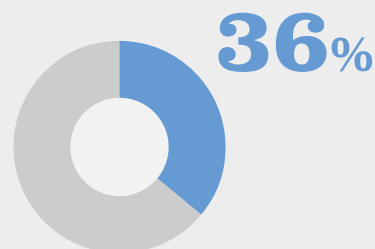
## その他事業



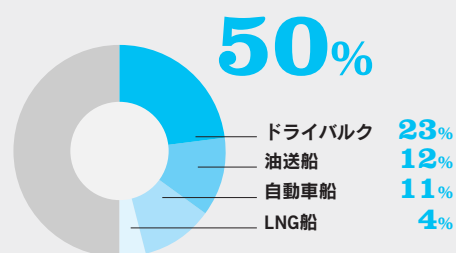
## 事業概要

## セグメント別売上高構成比

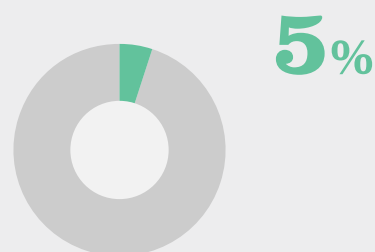
当社は、450TEU型から6,350TEU型まで幅広い船型のコンテナ船94隻を擁し、東西基幹航路はもとより、世界の各地域を縦横に結ぶバランスの良い航路網を展開しています。このグローバルなネットワークにより、当社は世界のどの地域における成長のチャンスも見逃すことはありません。また、APL・現代商船と96隻のコンテナ船隊を誇るアライアンス(TNWA)を結成、高いコスト競争力と相俟って、当社のプレゼンスを世界のコンテナ船社を代表するものに高めています。日本・米国・タイにおいて展開するコンテナ・ターミナル事業も、このセグメントに含まれています。



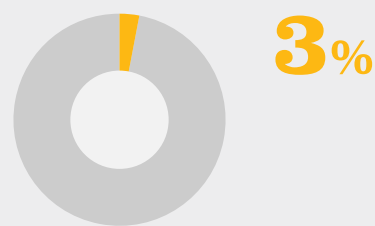
当社は299隻からなる世界最大のドライバルク船隊を擁し、鉄鉱石、原料炭、燃料炭、木材チップ、穀物、その他撒積み貨物の輸送を行っています。自動車船では、83隻のコア船隊による最高品質のサービスを提供し、顧客からの高い信頼を得ています。エネルギー輸送も当社が活発な事業活動を展開している分野であり、145隻の油送船によって原油・石油製品・化学品・LPGなどを輸送する一方、LNG船部門は54隻のプロジェクトに関与して世界をリードしています。本セグメントは中・長期契約のもとに運航される船舶の割合が高いのが特徴で、当社「安定利益」の、主たる担い手となっています。



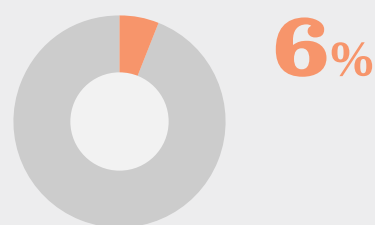
ロジスティクス事業は、当社の他の事業セグメントとのシナジー効果を最大化することを目指し、「マーケット・イン」ポリシーに基づいて、真に顧客ニーズにあったサービスの提供に努めています。中国における戦略的な投資とオーシャン・コンソリデーション・ビジネスの拡大が現在の重点分野ですが、これにとどまらず、高付加価値の物流サービスを求める顧客の声に応えるために、ひとつひとつ着実なステップを積み重ねています。(株)近鉄エクスプレスとの戦略的提携によって、海運及び航空貨物のワンストップサービスを提供する機能も強化しました。



当事業は、大規模な国内輸送ネットワークによって、多様で高品質な輸送サービスを提供しています。30ノットの高速貨物フェリーの運航、共同配船によるRORO船サービスの開始や、グループ会社間での運航・セールスの統合などによって、事業の強化に努めています。また、当社グループのサービスは、地球環境保全を目的とする日本政府の「モーダルシフト政策」のモデルとしても、注目を集めています。当社は、これによって見込まれる需要増を、国内最大のフェリー・オペレーターとして最大限に取り込んでいきたいと考えています。



当セグメントの中心は、2004年に連結子会社化したダイビル(株)のオフィスビル・マンション賃貸業、及び国内有数の規模を有する曳船事業です。その他の事業としては、マリンコンサルティング・マリンエンジニアリング・商社・人材派遣業などがあり、ほとんどが海運業に関連した分野を中心として事業を展開しています。「につぼん丸」を擁する客船事業も、このセグメントに含まれます。



当セグメントには船舶運航業、貸船業、船舶管理業、金融業などが含まれ、主として当社グループの管理部門業務を提供しています。

